



## 「図書館を活用しよう!」

図書館長 神保 睦子

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生の皆さん、新たな気持ちで新学期に臨みましょう。

「図書館」という言葉を聞いて、皆さんは何をイメージするでしょう。「難しい本がたくさんあるところ」、「古くて暗い建物」と、そんな感じでしょうか。

近年、図書館というよりも書籍を取り巻く環境は大きく変化しています。まず、「電子ジャーナル」や「電子図書」に代表される図書のペーパーレス化が進んでいます。そのため、図書館に行かなくても、電子端末があれば文献や図書を検索したり、ダウンロードしてどこでも読んだりすることができます。また、書籍を購入するた



めに書店に行かなくても、インターネットで簡単に購入できるようになり、残念なことですが、老舗の書店が閉店するというニュースを耳にすることがしばしばあります。このような社会状況の中では、図書館も従来のあり方から変わっ

て行かなければなりません。

大同大学の図書館は、中に入ると正面に大きな窓があり、とても明るいです。社会のペーパーレス化にそって、図書館資料のデジタル化や電子図書等の購入も積極的に進めています。もちろん、学科の学習に必要な図書は多数所蔵されていますが、それ以外にも、DVDが見られるAVラウンジもあります。また、今年度からは、アクティブラーニング(グループ活動により、知識や経験を身につけていく能動的学習)に対応したグループで活用できるスペースが拡充され、充実します。さらに、皆さんの要望を聞く機会もあります。

1年生のはじめに図書館について説明がありますが、その時は知らなければならない事が多数あり、なかなか図書館のことまで覚えきれないかもしれません。図書館にはスタッフが常駐し、分からないことはいつでも教えてもらえます。

新入生の皆さん、今まで図書館に行ったことのない皆さんも一度図書館を覗いてみませんか。図書館をいろいろ活用すると面白いかもしれませんよ!

## 選書ツアー



平成27年7月2日(木)、三省堂書店名古屋高島屋店にて、「選書ツアー」を実施しました。

選書ツアーは、図書館の所蔵する資料を学生に選んでもらう企画です。本学図書館に置いておきたいと思う図書を、大型書店で現物を見て選定します。



選書ツアーで選定された図書の貸出率は、他の図書に比べるとかなり高いので、今年も、学生目線で選書に協力して貰いました。

また、今年も、学生室のスタッフにも参加して貰って、学生生活や課外活動を支援する観点からも、学生の為になる図書の選書に協力して貰い

ました。

本学の図書館の所蔵資料は、工学と情報学の学術専門書が中心ですが、選書ツアーでは、教養を育むための資料など、幅広い分野の資料を選書の対象としています。

参加者は、個人的に興味のある本、個人ではなかなか手が出ない高価な本などをどんどん買い物かごに入れて、選書を楽しんでいました。



今年の予算は、1人当たり20,000円までという設定にしたのですが、現場で、予算が足りないという意見が続出し、若干の予算オーバーは認めることにしました。事前の下調べをし、効率的に選書してくれる参加者などおいて、図書館としては嬉しい誤算でした。

この企画は今後も続けて行きますので、興味のある方は、是非参加して下さい。

今年度のツアーで選書された資料の一部を紹介します。



### 2015選書ツアー購入リスト(抜粋)

- |                        |                        |             |
|------------------------|------------------------|-------------|
| 『量子コンピューターが本当にすごい』     | 『鉄道・路線廃止と代替バス』         | 『銀翼のイカロス』   |
| 『10日でおぼえる Python 入門教室』 | 『名古屋鉄道のみみつ』            | 『火花』        |
| 『その数式、プログラムできますか?』     | 『IC カードと自動改札』          | 『彼女を愛した遺伝子』 |
| 『人生の99%は思い込み』          | 『アニメーターが教える線画デザインの教科書』 | 『分解日記』      |
| 『教える技術 チーム編』           | 『ぐでたま哲学 2』             | 『若冲』        |
| 『はじめての男の謝罪マニュアル』       | 『東方絵技帖』                | 『ドラゴンライダー』  |
| 『ビジネス実務マナー検定実問題集 1・2級』 | 『和装の描き方』               |             |
| 『統計でウソをつく法』            | 『ろごたいぶっ!』              |             |
| 『賢く「言い返す」技術』           | 『写真の撮り方きほん book』       |             |
| 『すぐに使える手話パーフェクト辞典』     | 『ヒッチコックを読む』            |             |
| 『世界で一番美しい海のいきもの図鑑』     | 『相手に「伝わる」話し方』          |             |
| 『3分間ネットワーク基礎講座』        | 『中国語で言ってみよう「この一言」』     |             |
| 『STM32 マイコン徹底入門』       | 『英語ジョークの教科書』           |             |
| 『無印良品のデザイン』            | 『イノセント・デイズ』            |             |
| 『地域で守ろう! 鉄道・バス』        | 『君の隣に』                 |             |
| 『ふしぎな国道』               | 『ラプラスの魔女』              |             |



## 図書館長との懇親会

平成28年1月22日（金）、図書館の館長室にて、神保図書館長と、図書館利用者との懇親会を実施しました。



今回は、学部の1年次生から4年次生と、大学院生の参加もあり、また、図書館を良く使っている学生ばかりでなく、まだあまり使っていないという低学年の学部生の参加もあり、様々な立場、様々な角度から図書館に対する活発な意見を頂きました。

「学科毎に関係する図書を纏めて置いてほしい。」「土曜日も開館して欲しい。」「3Fにもカラーコピー機を設置して欲しい。」「館内に飲食できるスペースを作って欲しい。」「医療



関係や外国文学の本を増やして欲しい。」「サテライトPCの台数を増やして欲しい。」「PCを2・3Fにも設置して欲しい。」「学科毎に学生の人気の高い図書を教えてほしい。」「人気の高いDVDも知りたい。」などの意見・要望が出されました。

1年次生の女子学生からの報告で、「以前、資格関係の本を探しに女子学生数名のグループで図書館を訪れたので

すが、グループ用のテーブルは全て男子学生に占領されていたので、結局、図書館の利用を諦めたことがあります。」というものがあり、図書館から、年度内にラーニングコモンズ用の設備として、グループ規模に合わせて自由に配置換えしてグループ学習ができる机や椅子、ホワイトボードを導入するので、今後はそちらが利用できることが紹介されました。

また、今回も、3・4年生の意見から、「図書館を必要とする時に、図書館の使い方が良く分からない。」と感じる人が多い事がわかりました。更に、1年次生の前期に全学生を対象に行っている図書館オリエンテーションについては、「残念ながら内容をあまり覚えていない。」という悲しい感想の人



が多い様です。図書館としては、オリエンテーションの内容にも、更なる工夫をして行きます。

最後に図書館から、図書館のイベントや、図書館サポーター制度を検討していることなどを紹介し、図書館長の総評を頂いて会を閉じました。

参加頂いた皆さん、ありがとうございました。

図書館は、これからも利用者の皆さんの意見に耳を傾け、より使い易い図書館を目指していきます。

### 〈参加者〉

神保睦子図書館長、杉山慎治 (MA15)、福田俊樹 (B12)、青木優太 (E13)、加藤雅士 (B13)、飯田瑞季 (D14)、林智大 (E15)、内山瑞稀 (D15)

### 〈スタッフ〉

片岡智幸室長、井上章子主査、角田真衣、村田歌奈子

## 図書案内POP展2015

平成27年7月1日（水）～9月3日（木）の期間、図書館1FエントランスホールとB棟1F学生食堂西側通路の柱掲示板を使って、「きっと見つかるあなたの1冊」と題したPOP展を実施しました。



POP(Point of Purchase advertising) とは、販売促進のための広告媒体の一つで、書店などで見かける本の内容を分かり易く解説したカードのことです。図書館で



は、図書の紹介カードとして展示しています。

POP展では、学生が制作した傑作POPを中心にパネルで紹介しています。紹介したい本があったら、是非、POPを作って図書館にご提供下さい。ご協力をお願いします。

## ラーニング・コモンズ

2Fの学習閲覧室、グループ閲覧室、グループAV室をリニューアルしました。

これまでの図書館は、個人で静かに利用するための施設でした。もちろん今後も、その機能が無くなる訳ではありませんが、これ

からは、図書館にも、個人利用だけでなく、グループで学習できるスペースを置くことが強く求められるようになってきました。

ラーニング・コモンズとは、「学びの共同スペース」という意味です。本館の2Fの学習閲覧室とグループ閲覧室は、そもそもグループでの学習を想定したスペースでしたが、今回、机と椅子にキャスターを付け、利用者が自由に配置換えできるようにしました。3人掛けの“しずく型テーブル”は、



6人用、9人用、12人用に変形させて使用できます。

また、ホワイトボードも設置しましたので、グループ討議にも、より便利に利用できるようになりました。

グループAV室も、メモ台付きの椅子を、キャスターと荷物棚付きのものに入れ替えました。



## 図書館システムへのアクセス

### PC・スマートフォン

「大同大学図書館」で検索。

<http://lis.daido-it.ac.jp/home/>

### 携帯電話

右のQRコード又は、下記URL。

[http://lis.daido-it.ac.jp/limedio/i/index\\_daido.html](http://lis.daido-it.ac.jp/limedio/i/index_daido.html)



## 新聞記事データベース

「日経テレコン21」と「中日新聞・東京新聞記事データベース」を、図書館のホームページから利用できます。

ご利用は、学内のネットワークからのアクセスに限定されます。

就職活動にも有効なツールですので、積極的にご利用下さい。

### <日経テレコン21>

『日本経済新聞』『日経産業新聞』『日経MJ(流通新聞)』などの記事データ。

当日の記事も検索可能。接続数の制限はありません。

### <中日新聞・東京新聞記事データベース>

『中日新聞』、『東京新聞』の記事データ。原則1～2日前の紙面からの記事検索が可能。同時接続制限は1件。

## 学術情報リポジトリ

2013年度以降の博士論文や、紀要に掲載した論文を「大同大学学術情報リポジトリ」に掲載しています。

<https://daido.reponi.ac.jp/>

インターネットから、論文の本文を直接ご覧頂けます。

## 電動式集密書架の改修工事

M4F書庫の電動式集密書架の改修工事が完了しました。

操作パネルが新しくなり、書架の間の照明やセンサーも人感センサー式になりました。

より使い易く、安全性も高めています。

